

7/16未複

安倍氏の「国葬」に反対

平和委声明

日本平和委員会は15日、岸田文雄首相が表明した安倍晋三元首相の「国葬」に反対する声明を発表しました。

参院選中の安倍元首相の銃撃殺害事件は、自由と民主主義の原則とは全く相違しない」と強く反対しています。

本から破壊する「立憲主義」として、裏側の意を表明。一方、税金を争う自衛権行使容認の闘議で「功績」を称賛する決定や安保法制=戦争

「国葬」は、特定の評価を国民に押し付けることに他ならないとして「憲法の定める国民主義、思想・良心の自由と民主主義の原則とは全く相違しない」と強く反対しています。

法を強行し、立憲主義を根本から破壊したこと、今日の大軍拡・軍事費倍増につながる「敵基地攻撃能力」保有に向けた安保政策策定を指示したこと、「憲法を破壊する」のような「裏縫」を評価する」とは到底できない」と批判しています。

安倍元首相が集団的